



WEEKLY REPORT

ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

2010～2011年度
国際ロータリーのテーマ
地域を育み、大陸をつなぐ
2010～2011年度
RI会長 レイ・クリンギンスミス

創 立：1980年(昭和55年)1月10日
会 長：田中 隆義
会 員 数：加納 裕
会 員 名：梅村 昌孝
例 会 日：毎週木曜日PM12:30～
会 場：ヒルトン名古屋

事 務 局：460-0008
名古屋市中区栄1丁目3-3 ヒルトン名古屋910号
T E L：052-211-3803
F A X：052-211-2623
M A I L：2760_nagoya@mizuho-rc.jp
U R L：http://www.mizuho-rc.jp/

第1503回例会

～環境保全週間～
クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2011年5月12日(木) 晴 第40回

司 会：鶴田浩会場委員
斉 唱：「君が代」「我等の生業」
ゲ ス ト：元ラグビー日本代表 吉田尚史さん
米山奨学生 楽怡さん

会長挨拶

田中隆義会長

皆様ご承知のように、元会員の森真佐雄さんが5月7日にご逝去されました。誠に残念ですが、謹んでご冥福を祈りたいと思います。昨夜がお通夜、本日1時から告別式が行われます。



森真佐雄さんは、森定興商株式会社社長で、大正13年のお生まれでした。昭和55年に瑞穂RCに入会され、1989～90年度、第11代会長を務められました。私たち後輩の会員にも親しくしていただき、ご指導をいただきました。今ではいろいろなことが思い浮かびます。今日の告別式は例会と同じ時刻のため参列できませんので、ここから皆さんと一緒に黙祷を捧げたいと思います。(黙祷)どうもありがとうございました。

2011年5月2日付で地区ガバナーと各クラブの会長宛に「ガバナー会にお寄せいただいた義援金の集計報告と今後の支援方針について」のメールが届きましたのでご披露させていただきます。

この度は、東日本大震災義援金のご支援をお願い致しましたところ、多くの地区クラブ会員の皆様のご理解とご協力をいただき、その金額は5月2日正午現在、約7億8千万円となっております。心から御礼申し上げます。ガバナー会では「東日本大震災支援検討委員会」を開催しましたので中間報告をさせていただきます。

ロータリーらしい支援活動とは、①公正にして、②建設的であり、なお且つ③温かいプログラムであること、という視点から次の2本の柱を設定し鋭意検討を進めております。一つ目は「災害遺児の教育環境支援プログラム」として、中学・高校・大学・専門学生への奨学金支援を行います。二つ目は「ファイブ・フォー・ワン・クラブプログラム」として、非被災の5クラブが1つのグループを作り、被災1クラブを物心両面で支えるプログラムを展開します。

災害遺児とその家族にあたたかく寄り添えるようなプログラムにしたいと考えております。年度内には、より具体的な支援内容をご提示できるものと思います。災害遺児は4月22日現在524人で、今後増加が見込まれます。また被災地区では相当数のクラブが現在例会を開けない状況にあります。

この2本柱のプログラムの推進には複数年にわたる皆様のご支援が必要となります。皆様のご協力を頂きながら、出来る限りの支援の手を差し伸べてゆきたいと願っています。

また福島県いわき市「いわき平中央RC」からハガキが送られてきましたのでこちらご紹介させていただきます。

初めてお便り申し上げます。私もいわき平中央RCは、この度の東日本大震災で被災した福島県いわき市にございます。今尚余震が続く中、ロータリアンとして地域復興に全力を注いでいる最中です。しかし、その活動も福島県、いわき市というだけで全てが原子力発電所からの放射性物質に汚染されているという風評にさらされ、復興への大きな妨げになっております。事実、商用などで他県を訪れると、入室を断られるという事象も報告されております。これら風評被害を上げれば枚挙に暇がありません。願わくば貴クラブにおかれましても、原子力被害状況への冷静なご判断の下、各会員、ご家族、お知り合いに適切なる行動を促していただきたいと、心よりお願い申し上げます。

以上で挨拶を終わります。

ニコボックス

亀井直人ニコボックス委員長

- ・ やっと復活できそうです。 宗宮 信賢さん
- ・ 来週18日より台北延平RCの皆様がいらっしゃいます。震災の義援金等感謝感謝です。瑞穂RC全員で温かく歓迎しましょう。 松波 恒彦さん
- ・ 5月1日は私の76回目の誕生日でした。 高村 博三さん
- ・ 5月8日は結婚記念日でした。 平野哲始郎さん
- ・ 4月10日は結婚記念日でした。欠席が多く、遅くなりました。 森 恒夫さん
- ・ 5月4日?回目の結婚記念日でした。特に何事もなく終わりました。本日は所用により早退します。 稲葉 徹さん
- ・ 4月25日は結婚記念日でした。 大嶽 達郎さん
- ・ 今月は奥さんの誕生日です。綺麗なお花が届くことを期待して。 平野哲始郎さん
- ・ 皆さんお元気ですか?お久しぶりです! 野崎 洋二さん
- ・ 5月3、4、5日に仙台店に行ってみよう。ご心配お掛けしましたが、売上も回復してまいりました。ありがとうございました。 鶴田 浩さん
- ・ 本日の卓話に吉田氏を迎えて。 鈴木 淑久さん

5月お誕生日おめでとう

高村 博三さん 長瀬憲八郎さん 春日 良平さん
加納 裕さん 佐藤 一郎さん 堀 慎治さん

出席報告

亀井直人ニコボックス委員長

会員66名 出席48名 (出席計算人数51名)

出席率 82.8% 4月21日は補填により96.6%

- ・本日13時40分より9階「ことぶきの間」にて第11回理事会を行います。
- ・5月18日(水)18時45分よりテレビ塔4階「タワーズレストラン」にて台北延平RCのウェルカムパーティーを開催致します。
- ・5月19日(木)18時よりヒルトン名古屋28階「ONE O FIVE」にて台北延平RCとの調印式を行います。

委員会・同好会報告

国際奉仕委員会：市岡正蔵委員長

来週5月19日、台北延平RCとの第8回姉妹提携の調印式がこのヒルトンホテルで開催されます。それに伴いまして前日の5月18日、台北延平RCの皆様をセントレアに迎えに行き、その後はウェルカムパーティーを行い、翌日は観光と歓迎行事を計画しております。我々が台北延平RCを訪れたときにはいつも熱烈に歓迎していただいておりますので、今回は台北延平RCの皆様喜んでいただきたいと思います。台北延平RCの皆様はそれぞれの部署から多数ご参加をいただいておりますので、調印式関連行事では会員の皆様のご協力をお願い致します。また関連行事はバスで移動しますので、欠席を表明されている皆様も当日都合が付くようでしたら席はございますので是非ご参加下さい。

卓話者紹介

鈴木淑久さん

吉田尚史さんは専修大学を卒業後、日本人としては初めてプロラグビー選手としてサントリーのラグビーチームに入団しました。サントリーに6年間、その後三洋電機に7年間、その間にタイトルを6回獲得しています。日本代表としてワールドカップにも出場し、次期オリンピックでラグビーが準公式競技に決まり、その日本代表として出場したアジア大会にて優勝されています。今期は東洋大学のチームで選手兼コーチとして活動されることが決まっています。本日の卓話のテーマは「団体競技の素晴らしさ」です。よろしくお願いたします。

卓話

元ラグビー日本代表 吉田尚史さん

団体競技の素晴らしさ



私はラグビーを6歳から始め、現在まで約30年間ラグビーを続けてきました。ラグビーを始めたのは父の影響ですが、その間に様々な仲間に出会い、素晴らしい経験をさせていただきました。

ラグビーというのは15対15で行う、球技の中では最も人数の多い競技です。そのためチームワークがとても大事になってきます。

チームワークを育てるために寮生活を送り、同じ釜の飯を食べます。私が大学生の時には専修大学のラグビー寮に入り、様々な経験をしました。1年生の部員は22名おり、部屋は4年生・3年生・2年生・1年生の4人で6畳一間を使い生活しました。掃除洗濯など先輩の身の回りの世話をしていましたが、この寮には洗濯機が3台しかありませんでした。その3台を毎日1年生同士で取り合いになり、喧嘩していました。しかし2年生、3年生になると次第に一緒に辛い経験をした仲間と一致団結し、今では一生の友達となりました。

ラグビーという競技はすごく激しい競技で、試合の中で殴られたり、踏まれたりすることは多々あり、相手チームと乱闘もおこります。しかし「試合が終われば友人だ」というラグビーの精神を表す『ノーサイド』という言葉があります。ラグビー競技場にはシャワールームが自分のチームと相手チームで1つしかありません。試合後は一緒になってお風呂に入り、色々と語り合い仲を深めます。そしてその後にアフターファンクションというパーティーが行われ、共にお酒を飲み交わし、仲良くなり競技を終えるのです。競技中はどんなに殴られたとしても、ノーサイドの精神に則り、試合

が終わればみんなで仲良くしようと仲間が増えていきます。そして今では色々なチームの方ととてもいい関係を築いています。

大学の卒業時は就職難で、就職するのは難しいと言われていました。しかし私はプロとしてサントリーに入社し、他の二十数名の部員達もそれぞれ第1希望もしくは第2希望の会社に就職することが出来ました。ラグビー部員達はラグビーを通して団結し合う気持ちや一つのことをみんなでやり遂げていくということを知っているからこそ、採用されたのではないかと思います。

例えばラグビーという団体競技の中で、1人がとても良いタックルをすると周りがどんどん盛り上がっていきます。それが流れを変え、チームに良い影響を与えます。ラグビーは非常に激しいスポーツである反面、紳士のスポーツであるとも言われています。「ワンフォーオール・オールフォーワン」一人はみんなのために、みんなは一人のためにという言葉の下、15人の選手が一致団結し相手チームと戦います。たとえ殴られようが踏まれようが自己犠牲の精神でボール一つを取りに行くという精神論的な部分が多い競技です。誰がヒーローになるというわけではなく、力を合わせるによって大きなものに立ち向かい、みんなで一つの勝利をもぎ取ることが団体スポーツの素晴らしさだと思います。

東日本大震災が3月に起き、日本選手権7連覇した東北の釜石ラグビー部でもグラウンドを流され、チームメイトも何人か亡くなりました。私たちはみんなで力を合わせて、震災後後片付けを手伝い、釜石ラグビー部は5月からまた始動することが出来ました。釜石ラグビー部はまだ復興できたとは言えないかもしれませんが、今年のシーズンもラグビーをプレー出来ることが決定しました。釜石ラグビー部は実業団のクラブチームですが、運営費は新日鉄釜石が出しているのではなく、釜石市と住民の方々の寄付で賄われています。こういった震災があり誰もが大変な時期にも関わらず、寄付をしていただき存続を決定できました。選手自身はただ100%の力で精一杯戦うだけです。一生懸命ラグビーやスポーツをやることで見ている方々に勇気を与え、頑張ろうと思っただけのなら、私たちの励みにもなります。今の日本や被災地に対して私たちに何が出来るのか、私個人で何が出来るのか分かりませんが、仲間やチームの先頭に立ち、音頭を取っていきたくです。ラグビーという競技は後ろにパスを出します。敵が来たら後ろにパスを出し、前に進み、また敵が来たら後ろにパスを回す。そうやって少しずつ前へと進んでいくのです。東北もすぐには復興できないと思いますが、少しずつ前に進んでいって欲しいと思います。東北の人たちがいち早く元の生活に戻れることを願っています。皆様も昔からの友達や仲間を集め、みんなで復興できたらいいと思います。

例会のご案内

■今週の行事 5月19日(木) 台北延平RCとの調印式

場 所：ヒルトン名古屋28階「ONE O FIVE」
時 間：18:00～20:30

■次週の卓話 5月26日(木)

卓話講師：神谷デザイン事務所代表取締役
神谷利徳さん

テ — マ：今商業ができる事、しなければならない事!

■次々週卓話 6月2日(木)

卓話講師：スペシャルオリンピックス広報委員会
委員長 伴義子さん

テ — マ：スペシャルオリンピックスが目指すもの

お詫びと訂正

第1500回例会ウィークリーに間違いがありました。

【2ページ目の懇親会乾杯の欄】

○1行目 富士酒造→久慈酒造

○5行目 小売店→仙台の友人

以上2点を訂正し、お詫び申し上げます。